

【1】 次の(1)～(5)は、法令の条文である。(ア)～(オ)にあてはまる適切な語句をそれぞれ①～④から選び、記号で答えよ。

(1) 教育基本法第4条2項

国及び地方公共団体は、障害のある者が、その障害の状態に応じ、(ア)な教育を受けられるよう、教育上必要な支援を講じなければならない。

- ① 十分 ② 必要 ③ 適切 ④ 平等

(2) 学校教育法第22条

幼稚園は、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な(イ)を与えて、その心身の発達を助長することを目的とする。

- ① 教具 ② 環境 ③ 機会 ④ 指導

(3) 学校教育法第23条

幼稚園における教育は、前条に規定する目的を実現するため、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。

- 一 健康、安全で幸福な生活のために必要な基本的な習慣を養い、身体諸機能の調和的発達を図ること。
- 二 集団生活を通じて、喜んでこれに参加する態度を養うとともに家族や身近な人への信頼感を深め、自主、自律及び協同の精神並びに規範意識の芽生えを養うこと。
- 三 身近な社会生活、生命及び自然に対する興味を養い、それらに対する正しい理解と態度及び思考力の芽生えを養うこと。
- 四 日常の会話や、絵本、童話等に親しむことを通じて、言葉の使い方を正しく導くとともに、相手の話を理解しようとする態度を養うこと。
- 五 音楽、身体による表現、造形等に親しむことを通じて、豊かな(ウ)と表現力の芽生えを養うこと。

- ① 言葉 ② 心 ③ 情操 ④ 感性

(4) 幼稚園設置基準第5条4項

幼稚園に置く教員等は、(エ)必要と認められる場合は、他の学校の教員等と兼ねることができる。

- ① 安全上 ② 管理上 ③ 教育上 ④ 制度上

(5) 学校保健安全法第9条

養護教諭その他の職員は、相互に連携して、健康相談又は児童生徒等の健康状態の日常的な（オ）により、児童生徒等の心身の状況を把握し、健康上の問題があると認めるときは、遅滞なく、当該児童生徒等に対して必要な指導を行うとともに、必要に応じ、その保護者（学校教育法第十六条に規定する保護者をいう。第二十四条及び第三十条において同じ。）に対して必要な助言を行うものとする。

- ① 指導 ② 生活 ③ 行動 ④ 観察

(6) 次の(カ)～(コ)の各法令に関する内容として適切なものを①～⑨から選び、記号で答えよ。

- (カ) 教育基本法 (キ) 学校教育法 (ク) 学校教育法施行規則
(ケ) 地方公務員法 (コ) 学校保健安全法

- ① 全て児童は、児童の権利に関する条約の精神にのっとり、適切に養育されること、その生活を保障されること、愛され、保護されること、その心身の健やかな成長及び発達並びにその自立が図られることその他の福祉を等しく保障される権利を有する。
- ② 幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであることにかんがみ、国及び地方公共団体は、幼児の健やかな成長に資する良好な環境の整備その他適当な方法によって、その振興に努めなければならない。
- ③ 学校には、その学校の目的を実現するために必要な校地、校舎、校具、運動場、図書館又は図書室、保健室その他の設備を設けなければならない。
- ④ 幼稚園においては、第二十二条に規定する目的を実現するための教育を行うほか、幼児期の教育に関する各般の問題につき、保護者及び地域住民その他の関係者からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行うなど、家庭及び地域における幼児期の教育の支援に努めるものとする。
- ⑤ 職員は、政党その他の政治的団体の結成に関与し、若しくはこれらの団体の役員となつてはならず、又はこれらの団体の構成員となるように、若しくはならないように勧誘運動をしてはならない。
- ⑥ 学校、児童福祉施設、病院、都道府県警察、婦人相談所、教育委員会、配偶者暴力相談支援センターその他児童の福祉に業務上関係のある団体及び学校の教職員、児童福祉施設の職員、医師、歯科医師、保健師、助産師、看護師、弁護士、警察官、婦人相談員その他児童の福祉に職務上関係のある者は、児童虐待を発見しやすい立場にあることを自覚し、児童虐待の早期発見に努めなければならない。
- ⑦ すべて国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する。
- ⑧ 学校においては、児童生徒等の安全の確保を図るため、児童生徒等の保護者との連携を図るとともに、当該学校が所在する地域の実情に応じて、当該地域を管轄する警察署その他の関係機関、地域の安全を確保するための活動を行う団体その他の関係団体、当該地域の住民その他の関係者との連携を図るよう努めるものとする。
- ⑨ 国民は、基本理念にのっとり、こども施策について関心と理解を深めるとともに、国又は地方公共団体が実施するこども施策に協力するよう努めるものとする。

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)	(カ)	(キ)	(ク)	(ケ)	(コ)
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

【2】 次の(1)～(10)は、「幼稚園教育要領」(平成29年3月 文部科学省)における「第2章 ねらい及び内容」に述べられている5領域の「ねらい」に関する記述の一部である。(ア)～(コ)にあてはまる語句を①～⑩から選び、番号で答えよ。

- (1) 明るく伸び伸びと行動し、(ア)を味わう。
- (2) 生活の中で(イ)を豊かにし、様々な表現を楽しむ。
- (3) 幼稚園生活を楽しみ、自分の力で(ウ)することの充実感を味わう。
- (4) 社会生活における望ましい(エ)を身に付ける。
- (5) 身近な環境に親しみ、(オ)と触れ合う中で様々な事象に興味や関心をもつ。
- (6) 日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、言葉に対する(カ)を豊かにし、先生や友達と心を通わせる。
- (7) 自分の気持ちを言葉で表現する(キ)を味わう。
- (8) 自分の体を十分に動かし、進んで(ク)しようとする。
- (9) 感じたことや考えたことを自分なりに(ケ)して楽しむ。
- (10) 身近な(コ)に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。

- ① 感覚 ② 楽しさ ③ 環境 ④ 行動 ⑤ 習慣や態度
 ⑥ 自然 ⑦ 充実感 ⑧ 運動 ⑨ 表現 ⑩ イメージ

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)	(カ)	(キ)	(ク)	(ケ)	(コ)
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20

【3】 次の文は、「幼稚園教育要領解説」（平成30年2月 文部科学省）における幼稚園教育において育みたい資質・能力及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」に関する内容である。適切なものを①～⑨から5つ選び、番号で答えよ。

- ① 幼稚園教育において育みたい資質・能力である「知識及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現力等の基礎」「学びに向かう力、人間性等」は、それぞれ個別に指導していくことが大切である。
- ② 幼稚園の教師は、遊びの中で幼児が発達していく姿を、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を念頭に置いて捉え、一人一人の発達に必要な体験が得られるような状況をつくったり必要な援助を行ったりするなど、指導を行う際に考慮することが求められる。
- ③ 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を、幼稚園教育の到達目標として指導することが大切である。
- ④ 小学校の教師と「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりに子供の姿を共有するなど、幼稚園教育と小学校教育の円滑な接続を図ることが大切である。
- ⑤ 幼稚園においては、幼稚園生活の全体を通して、幼児に生きる力の基礎を育むことが求められている。
- ⑥ 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は5歳児になってからみられるものなので、3、4歳児の時期から意識して指導することがないように留意する必要がある。
- ⑦ 「知識及び技能の基礎」とは、具体的には、発達に必要な内容を教師が系統的に教える中で、幼児が知ったり、できるようになったりすることである。
- ⑧ 「学びに向かう力、人間性等」とは、具体的には、心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとすることである。
- ⑨ 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、幼稚園教育を通じた幼児の成長を幼稚園教育関係者以外にも、分かりやすく伝えることにも資するものであり、各幼稚園での工夫が期待される。

21	22	23	24	25
----	----	----	----	----

【4】 次の文は、「幼稚園教育要領解説」（平成30年2月 文部科学省）における特別な配慮を必要とする幼児への指導に関する記述の一部である。（ア）～（オ）にあてはまる語句の適切なものを①～④から選び、記号で答えよ。

障害のある幼児などには、視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱・身体虚弱、言語障害、情緒障害、自閉症、ADHD（注意欠陥多動性障害）などのほか、行動面などにおいて困難のある幼児で発達障害の可能性のある者も含まれている。このような障害の種類や（ア）を的確に把握した上で、障害のある幼児などの「（イ）」に対する「指導上の工夫の意図」を理解し、個に応じた様々な「（ウ）」を検討し、指導に当たっていく必要がある。その際に、幼稚園教育要領のほか、文部科学省が作成する「教育支援資料」（平成25年10月 文部科学省 初等中等教育局 特別支援教育課）などを参考にしながら、（エ）が障害に関する知識や配慮等についての正しい理解と認識を深め、障害のある幼児などに対する（オ）な対応ができるようにしていくことが重要である。

- （ア） ① 分類 ② 特性 ③ 原因 ④ 程度
 （イ） ① 困り感 ② 気持ち ③ 困難さ ④ 心情
 （ウ） ① 対応 ② 支援 ③ 手立て ④ 関わり
 （エ） ① 養護教諭 ② 園長や管理職 ③ 担任する教師 ④ 全ての教師
 （オ） ① 包括的 ② 組織的 ③ 効果的 ④ 実質的

（ア）	（イ）	（ウ）	（エ）	（オ）
26	27	28	29	30

- 【5】 次の文は、「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン【事故防止のための取組み】～施設・事業者向け～」（平成28年3月・内閣府）の重大事故が発生しやすい場面ごとの注意事項に関する一部である。（ア）～（オ）にあてはまる語句の適切なものを①～④から選び、記号で答えよ。

プール活動・水遊び

- プール活動・水遊びを行う場合は、監視体制の（ア）が生じないように専ら監視を行う者とプール指導等を行う者を分けて配置し、また、その役割分担を明確にする。
- 事故を未然に防止するため、プール活動に関わる職員に対して、子どものプール活動・水遊びの監視を行う際に見落としがちなリスクや注意すべきポイントについて（イ）を十分に行う。

誤嚥（食事中）

- 職員は、子どもの食事に関する情報（咀嚼・嚥下機能や食行動の発達状況、喫食状況）について共有する。また、食事の前には、保護者から聞き取った内容も含めた当日の子どもの（ウ）等について情報を共有する。
- 子どもの年齢月齢によらず、普段食べている食材が窒息につながる可能性があることを認識して、食事の介助及び観察をする。
- 食事中に誤嚥が発生した場合、迅速な（エ）と観察、救急対応が不可欠であることに留意し、施設・事業者の状況に応じた方法で、子ども（特に乳児）の食事の様子を観察する。特に食べている時には継続的に観察する。
- 過去に、誤嚥、窒息などの事故が起きた食材（例：白玉風のだんご、丸のままのミニトマト等）は、誤嚥を引き起こす可能性について（オ）に説明し、使用しないことが望ましい。

- | | | | | |
|-----|--------|-------|--------|--------|
| （ア） | ① 空白 | ② 不足 | ③ 欠落 | ④ 不備 |
| （イ） | ① 情報共有 | ② 研修 | ③ 事前教育 | ④ 周知徹底 |
| （ウ） | ① 心理状況 | ② 体調 | ③ 機嫌 | ④ 健康状態 |
| （エ） | ① 対処 | ② 気付き | ③ 注意喚起 | ④ 指導 |
| （オ） | ① 栄養教諭 | ② 保護者 | ③ 栄養士 | ④ 職員 |

（ア）	（イ）	（ウ）	（エ）	（オ）
31	32	33	34	35

【6】 次の文は、「環境教育指導資料〔幼稚園・小学校編〕」（平成26年10月 国立教育政策研究所）に述べられているものである。幼稚園における環境教育について適切なものを①～⑩の中から5つ選び、番号で答えよ。

- ① 幼児期の子供は、環境について言葉で理解したり表現したりすることができる。
- ② 園の環境や教育課程を見直し、園生活全体を通して自然や環境を学ぶことができる機会を十分に確保していくことが重要である。
- ③ 子供が自らを取り巻く環境と関わる中で得られる感動や疑問、満足感、充実感を大切にする。
- ④ 自然の中で諸感覚を働かせることを通して、自然に身を置くことの厳しさを体感させる。
- ⑤ 領域「環境」の内容よりも、他の領域を優先してねらいを達成する指導を考えていく必要がある。
- ⑥ 「身近な動植物に親しみを持ち、いたわったり世話をしたりする」など、動植物と関わる経験は幼児期に欠かせない。
- ⑦ 子供が身近な環境に興味や関心を持ち、受動的に関わることが重要である。
- ⑧ 環境教育を進めるに当たっては、まず、地域や園の実態、子供の実態等を把握し、それに基づいて指導計画を作成する。
- ⑨ 保護者にも啓発し、家庭でも取り組めることなどを知らせ、家庭と連携しつつ進める。
- ⑩ よりよい実践を生み出していくために、作成した指導計画の通りに進めることが重要である。

36	37	38	39	40
----	----	----	----	----

【7】 次の（ア）～（オ）の説明について、適切でないものをそれぞれ①～④から選び、番号で答えよ。

（ア） イネ

- ① 根元でくきが枝分かれしている。
- ② 4月～5月の半ばにかけて発芽する。
- ③ 穂がたれて黄色くなってきたら少しずつ水を切る。
- ④ イネが実ると、花びらがもみがらになり、内側に玄米ができる。

（イ） ナス

- ① 高温多湿に強く、生育適温は23～30℃である。
- ② 果皮の紫色は紫外線にあたることできれいに発色する。
- ③ 収穫期間は短く、1ヶ月程度である。
- ④ 皮が柔らかく傷がつきやすいので、支柱に誘引するとよい。

（ウ） オクラ

- ① 株は1.2m～1.5mに成長する。
- ② 暑さに弱いので、気温が低い時期に植え付ける。
- ③ 開花から約1週間で収穫するのがよい。
- ④ 若いさやの部分を食べる。

（エ） ヒマワリ

- ① 種をまいてから50～70日で開花する。
- ② 大きな花からは1000粒以上の種がとれる。
- ③ 発芽したら、水やりは頻繁にする。
- ④ つぼみのうちは太陽の方向を向き、花が咲くと一定の方向しか向かない。

（オ） タンポポ

- ① 都会で見られるのは、ほとんどセイヨウタンポポである。
- ② 花びらのように見える一つ一つの花がたくさん集まり、一つの花のように見える。
- ③ 花が咲いたあとは、いったんしおれて倒れるが、ふたたび立ち上がる。
- ④ 冬の間は葉を枯らし、春になると葉をのぼして花を咲かせる。

(カ) アメリカザリガニ

- ① 腹脚が長いのがオスである。
- ② はさみにはさまれないように、すばやく背中をつかむ。
- ③ 5～6月と9～10月にたまごを産む。
- ④ 脱皮する時は、まず頭と腹の間のからが離れる。

(キ) カタツムリ

- ① 陸にすむ巻貝の仲間である。
- ② 大触角の先にある目で、明るさを感じることができる。
- ③ オスはメスに比べて体が大きい。
- ④ 飼育ケースで飼う時は、涼しい場所に置くとよい。

(ク) セミ

- ① 卵は木の幹の中などに産みつけられる。
- ② 卵から孵った幼虫は土の中にもぐり、草や木の根の汁を吸う。
- ③ アブラゼミの成虫は、体が黒っぽく、緑や水色の模様がある。
- ④ 終齢幼虫は夜の間にも土の中から出てきて木などに登り、成虫になる。

(ケ) オオカマキリ

- ① 成虫は8月から11月にかけて見られる。
- ② 成虫の大きさは、頭の先から腹の先まで70mm～95mmほどである。
- ③ 卵は明るい茶色で、細長いご飯粒のような形をしている。
- ④ 幼虫の状態ですべて冬を越す。

(コ) ツバメ

- ① オスは体の上の面が黒色で、胸に赤い帯のもようがある。
- ② 子が巣立つまでの期間は約20～24日である。
- ③ 主な食べ物は昆虫である。
- ④ 春になると日本に渡ってきて巣を作る。

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)	(カ)	(キ)	(ク)	(ケ)	(コ)
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50

【8】 次の（ア）～（オ）の絵本の一節をA群の①～⑤から、作者名をB群の⑥～⑩から、それぞれ選び、番号で答えよ。

- （ア） ともだちや
- （イ） しろいうさぎとくろいうさぎ
- （ウ） ラチとらいおん
- （エ） しんせつなともだち
- （オ） すてきな三にんぐみ

A群

- ① 「つよくなるのには、まず たいそうを するんだよ。こんなふうだね」
- ② 「おや、こんなところに かぶが ふたつも あった」
こうさぎは よるこんで、ひとつだけ たべて、ひとつは のこしました。
- ③ 「いや、はや。よるも ひるも ききみみを たてているというのは……」
ミミズクのじいさんは、つかれた くびを まわしました。
- ④ さて、あくるあさ。ティファニーちゃんは、めを さますなり、
たからの やまに きがついた。「まああ、これ、どうするの？」
- ⑤ そして、こころをこめて いいました。
「これからさき、いつも きみといっしょに いられますように！」

B群

- ⑥ 作：方鉄鞏 訳：君島久子
- ⑦ 作：トミー・アンゲラー 訳：今江祥智
- ⑧ 作：ガス・ウィリアムズ 訳：松岡享子
- ⑨ 作：内田麟太郎 絵：降矢なな
- ⑩ 作：マレーク・ベロニカ 訳：徳永康元

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
A群	51	52	53	54	55
B群	56	57	58	59	60

【9】 次の楽譜について、下の（1）～（5）の問いに答えよ。

著作権保護の観点により掲載いたしません。

（1） この曲は何分の何拍子か、①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 4分の4拍子 ② 4分の3拍子 ③ 4分の2拍子
④ 8分の6拍子 ⑤ 8分の3拍子

61

（2） 楽譜の A の記号の意味を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 少し強く ② 特に強く ③ とても強く ④ 少し弱く ⑤ 弱く

62

(3) 楽譜Ⅰにあてはまる伴奏を①～⑤の中から選び、番号で答えよ。

①  ②  ③ 

④  ⑤ 

63

(4) 楽譜のⅦにあてはまる和音を①～⑤の中から選び、番号で答えよ。

①  ②  ③  ④  ⑤ 

64

(5) 楽譜のⅢ、Ⅳ、Ⅴに入るコードを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- | | | | |
|---|-----|-----|-----|
| ① | Ⅲ D | Ⅳ C | Ⅴ F |
| ② | Ⅲ A | Ⅳ C | Ⅴ G |
| ③ | Ⅲ F | Ⅳ C | Ⅴ G |
| ④ | Ⅲ A | Ⅳ G | Ⅴ C |
| ⑤ | Ⅲ F | Ⅳ G | Ⅴ C |

65

【10】 造形に用いる材料や用具について、次の問いに答えよ。

(1) ハサミを使う上での、幼児への指導上留意すべきことについて述べた次の(ア)～(エ)について、適切なものは①、適切でないものは②を選び、番号で答えよ。

(ア) 牛乳パックなど薄いものを切る時は、刃の先で切ると容易に切れる。

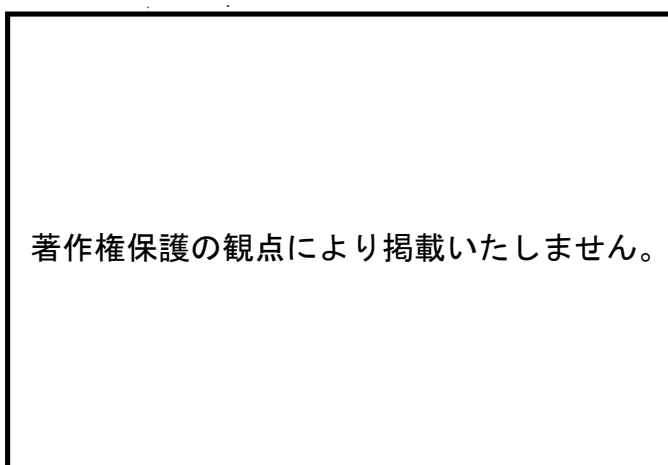
(イ) 槌子の原理を使った上下の歯による剪断で物を切るのので、少ない力できれいに切れる。

(ウ) 片方の刃で物を削ったり、穴を開けたりするのに使う。

(エ) 複雑な形を切る場合は、2度切りをしたり、切り込む方向を変えて切るとよい。

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
66	67	68	69

(2) 次の作品は、同じ技法を使って表現されたものである。この技法についてあてはまる最も適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。



技法の説明

ロウや油が水と反発する性質を利用して、クレヨン・パス・ロウソクで描いた後に水彩絵の具を重ね、絵の具がロウや油にはじかれた表現を楽しむことができる。

- ① ローラー ② パチック ③ ウエット・イン・ウエット
④ ウォッシュ ⑤ たらし込み

【11】 次の文は、「幼児期運動指針」（平成24年3月 文部科学省）の幼児期の運動の在り方に関する記述である。（ア）～（オ）にあてはまる語句を①～⑩から選び、番号で答えよ。

- (1) 幼児にとって体を動かすことは（ア）が中心となる。
- (2) 幼児期には体を動かす遊びなどを通して（イ）を十分経験しておくことが大切である。
- (3) 発達の特性に応じた遊びをすることは、その機能を無理なく十分に使うことによってさらに発達が促進され、自然に動きを獲得することができ、（ウ）にもつながるものである。
- (4) 幼児の身体諸機能を十分に動かし活動意欲を満足させることは、幼児の（エ）を育むことにもなり、体を使った遊びに意欲的に取り組むことにも結び付く。
- (5) 体を動かすことが幼稚園や保育所などでの一過性のものとならないように、（オ）にも情報を発信し、共に育てる姿勢をもてるようにすること。

- ① スポーツ ② けがの予防 ③ 多様な動き ④ 遊び ⑤ 小学校
 ⑥ バランス感覚 ⑦ 家庭や地域 ⑧ 有能感 ⑨ 単一な動き ⑩ 敏捷性

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
71	72	73	74	75

【12】 次の（ア）～（オ）の幼児教育に関する文章と関係の深い人物として適切なものを①～⑩から選び、番号で答えよ。

（ア） スイスのジュネーブで生まれ、フランスで活躍した思想家である。著書『エミール』は、近代教育思想に大きな影響を与えた。それ以前の子どもの見方をあらため、子どもは大人とは異なる存在であるとし、子ども期の発達の固有性を見出したことは、「子どもの発見」として知られる。また、自然に先立って教育してはならないとし、潜徳教育を説いた。

（イ） 大正期に活躍した児童文学者であり、童話集『湖水の女』を出版、『世界童話集』を発行している。1918年（大正7年）には、児童雑誌『赤い鳥』を創刊し、芸術性の高い童話、童謡を発表した。『赤い鳥』では、投稿欄を通して綴り方、児童自由詩、児童自由画の運動を推進し、児童文学や児童文化に大きな功績を果たした。

（ウ） アメリカの心理学者で、自然科学教育のカリキュラム改訂運動に大きな役割を果たした人物である。子ども自らが知識の構造を発見するとともに、学習の仕方を発見する学習指導法である発見学習を提唱した。発見学習では、発見の促進力となる内発的動機づけが重視された。著書に『教育の過程』がある。

（エ） 1875年（明治8年）、東京女子師範学校創設とともに英語教師として招かれ、その翌年、日本で初めての幼稚園となる東京女子師範学校附属幼稚園の初代園長に就任した。翻訳書『幼稚園記』や、『幼稚園創立法』、『幼稚園法二十遊嬉』などの著作がある。日本の幼児教育の基礎づくりに貢献した。

（オ） リトミックの創始者ダルクローズに師事し、日本で初めてリトミックを幼児教育に導入した。1937年（昭和12年）には、トモエ学園を創設し、リズムを重視した教育方法を展開した。『幼な児の為のリズムと教育』などの著書がある。日本のリトミック教育の基礎を築いた人物である。

- ① 関信三 ② 松野クララ ③ ルソー ④ 小林宗作 ⑤ 東基吉
⑥ 鈴木三重吉 ⑦ ヴィゴツキー ⑧ 西條八十 ⑨ ブルーナー ⑩ ヘルバルト

（ア）	（イ）	（ウ）	（エ）	（オ）
76	77	78	79	80